

パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

【音楽】

＜勉強すること＞

◆曲の特徴を生かして『こいのぼり』を歌いましょう。

（教科書 12～15 ページ）

(1) 12～13 ページを見て、様子を思いうかべながら、歌詞を声に出して読んでみましょう。難しい歌詞の意味も確認しましょう。

(2) 14 ページの楽譜を見ながら、『こいのぼり』をきいたり、口ずさんだりしてみましょう。



※曲を聴いてどんな感じがしましたか？

例：楽しい、悲しい、明るい、暗い、元気、静か、その他（ ）

(3) どうしてそんな感じがしたのかな。次の①と②の旋律を、動画の歌を聴いたり、実際に歌いくらべたりして、リズムが生み出す感じのちがいを感じ取ろう。（教科書 15 ページ）



※例：○の方が△△△△なので◇◇◇◇のような感じがする。

(4)  のリズムが生み出す曲の感じを意識して、明るい声で『こいのぼり』を歌いましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・教科書 P12～13 の写真や、歌詞、15 ページの「こいのぼりのお話」も、『こいのぼり』を歌う時の気持ちや声のヒントになります。
- ・(3)の活動では、①と②のリズムを、歌い比べながら感じの違いを捉えることで、『こいのぼり』の旋律の特徴を生かして歌うことができます。歌をきいてあげたり、一緒に歌ってあげたりしながら、「○の方が△△△な感じがするから、『こいのぼり』にぴったりだね。」などと、一緒に考えてみてください。